

9月・・・月見に思う!

2019. 9. 15

美幌町図書館長 竹花 史康

9月といえばやはり、“十五夜”、“中秋の名月”を思い浮かべる方が多いと思います。今年は、9月13日がその日に当たりました。しかし、13日は満月ではなく、14日が本当の満月でした。“中秋の名月”は、旧暦によるので必ずしも満月にはならないようです。

私たち日本人は、遠い昔から秋の夜長に美しい満月を鑑賞し、秋の実りを感謝する行事を行ってきましたが、私自身、若い頃は毎日がいっぱいだったため、わざわざ月を見るために夜を過ごしたことはほとんどありませんでした。

しかし、歳を重ねると、ときには月見酒で夜を過ごすのもいいかたれないと思いたち、家からかろうじて見える月を楽しみました。

行くことはできませんでしたが、美幌峠からの中秋の名月はきっと最高にちがいないと思ってもみました。

久々にゆっくりとお月様を眺めたので、その風情を俳句でさらに味わいたいと思います。



年よりや 月を見るにも ナムアミダ

小林一茶

名月や 池をめぐるて 夜もすがら

松尾芭蕉

月の宴 秋津が声の 高さかな

与謝野蕪村